

聖書箇所:マタイの福音書25章31~46節
「いつまでも残るもの(1)」

【1】 十字架を目前にして

- ・イエスが十字架を目前にして弟子たちに語ったこと = 「人の子到来」への備え
 - 「十人の娘のたとえ」(マタイ 25:1-13)
 - 「タラントのたとえ」(25:14-30)
 - 「羊とやぎのより分け」(25:31-46)

・「羊とやぎのより分け」 = 「人の子の到来」のヴィジョン

・すべての人はキリストのさばきの前に現れる(参照IIコリント 5:10, マタイ 25:31-32)。

【2】 わたしが空腹であったとき…

・より分けの基準とは？病人や弱者への慈善活動！？

・栄光の座に着かれたイエスご自身がすべての国の人々をより分ける
— 私たちは他者のいく末を案じる傍観者ではなく、キリストのさばきの座に立つ当事者

・「正しい人たち」の称賛された行為 = イエスに対する愛のわざ

【3】 最も小さい者たちの一人にしたこと

・共通の問い = 「主よ。いつ私たちは…」(25:37,44)

— イエスに対して愛のわざをしたかしなかったという自覚がない

・イエスの回答：「最も小さい者たちの一人にしたことは（しなかったのは）、わたしにした（しなかった）のです。」(25:40,45)

・「最も小さい者」 = 「イエスの弟子」(マタイ 10:42, 18:6, 10, 14)

・さばきの座に着かれるキリスト = 私たちのために死んでくださり、よみがえってくださり、私たちのためにとりなしてくださるお方(マタイ 8:1,31-34)。

▷ 私たち一人一人を愛してくださったキリストのご愛に信頼し、今日もその愛に応じて生きることができますように。「だれが、私たちが罪ありとするのですか。死んでくださった方、いや、よみがえられた方であるキリスト・イエスが、神の右の座に着き、しかも私たちのために、とりなしていてくださるのです。」(マタイ 8:34)

